

快適な生活環境の維持向上に対する貢献に期待

東京都福祉保健局健康安全部環境保健衛生課 課長 齋藤 祐磁

平成27年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

貴協会並びに会員の皆様におかれましては、平素から東京都の環境衛生行政に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、去年は、国内で約70年ぶりに海外渡航歴のないデング熱患者の発生が確認されました。東京都には、都民からのデング熱に対する健康不安や感染症媒介蚊対策等について、多くの相談が寄せられました。都では流行の拡大を防ぐため、貴協会の御協力を得ながら感染経路の推定場所に対し、殺虫剤の散布や駆除対策等を講じました。世界では、依然として広範な地域で蚊が媒介する感染症の流行がみられ、チクングニア熱、デング熱等の感染症の報告が、海外渡航者から散見されています。本年も、これらの流行が懸念されるため、都では蚊が媒介する感染症について、国内感染の早期発見や迅速な拡大防止措置等、感染症媒介蚊対策の充実に努めてまいります。また、貴協会と「蚊の駆除業務等に関する協定」を締結し、平時の備えと感染症発生時の迅速な対応の整備強化を図っております。引き続き、感染症の防衛体制の整備について、御協力をよろしくお願い申し上げます。

一去年は、マダニの媒介による重症熱性血小板減少症候群(severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)の感染者及び死亡例があったことが報告されるなど、これまでに経験したことのない新たな感染症のリスクが高まっています。さらに、去年は、特定外来生物に指定されているセアカゴケグモが東京都内で初めて確認され、咬傷被害の発生等が懸念されます。

貴協会におかれましては、日本だけでなく海外での流行や対策等の成果や最新情報を、いち早く貴協会機関紙や講演会等を通じて事業者や都民等に情報発信されたことは高く評価されているところです。今後も、永年にわたり現場で培われた豊かな知識や技術と科学的知見に基づいた専門性の高い各種事業を進めていただき、公益社団法人として社会的な信頼に応えながら、都民の衛生的で快適な生活環境の維持向上に、ますます貢献をいただけるものと期待いたします。

結びにあたり、本年が貴協会にとりまして、大いなる発展の年となりますよう心よりお祈り申し上げますとともに、会員の皆様の御健勝と御多幸を祈念しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。